

Title	朝鮮の温泉
Author(s)	中村, 新太郎
Citation	地球 (1924), 2(1): 132-141
Issue Date	1924-07-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/182708">http://hdl.handle.net/2433/182708</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

## 朝鮮の温泉

中村新太郎

朝鮮は日本内地の様に火山の多い處ではない、それが爲めか朝鮮には温泉が少ないと思ふ人が甚だ多い。然し實際はさうでなくて後に列擧する様に五十箇所の温泉地がある。勿論内地の様に其數千餘の多きに達する温泉地はない。備齊叢話に、我國六道、皆有温泉。而惟京畿全羅道無之。古書云、樹州有温泉。樹州、卽今京畿富平府。朝廷曾已遣人尋踏、而未得其源、抑人亦惡之而塞其源歟とある。私は嘗て京畿道漣川驛の南方で嘗て温泉の湧いてゐたといふ口碑のある谷側を試掘した跡を見たことがある。こゝは古生代(?)の砂岩を被覆して居る玄武岩地であつて附近には南北走する斷層のある附近であるから温泉の湧かないとも限らない地點である。多分高温でなくても温泉が湧いた處であるのであらう、富平と云ひ漣川と云ひ京畿道にも温泉があつたとすれば温泉のないのは全羅道許りであつて他の七道には温泉が分布されて居るのである。

一體朝鮮人は湯に這入らぬ人種である。端午の菖蒲湯にした所で湯に身を浸すのでなくて顔と頭とを菖蒲湯で洗ふ許りである。夏は男女とも溪流に浴して汗や垢を落すけれども湯に入るといふ事

は大都會のものを除き一生涯しないのが普通である。たゞ朝鮮人の浴場と云へば身體の悪いときに這入る汗蒸（ハジヤン）があるばかりだ、之は蒸汽浴である、蒸風呂である。よく部落から離れた坂などの道の傍に比較的屋棟の長い草葺小屋が淋しく立つてゐるのをふと見つけることがある。これは汗蒸の小屋である。ゲールの韓英辭典には汗蒸を註解して A mud sweating-room とある、汗をかいて病を癒さうとするのである。蒸汽をたゞせるには石塊を集めて之を燒き其の上に水を注ぐのであると聞いた。小屋の四壁は石を疊んだ土壁で、一體の構造が我々に取つては心地よいものではない。沐浴を常習とするには到らない朝鮮でも古來溫泉には沐浴した、然し立派な設備をされたものは稀であつたので東萊や溫泉は皆最近十數年間に設備が内地人によつて整へられたものである。

朝鮮では溫泉に浴することの代りに冷泉を飲用することは廣く行はれて居る。之を藥水（ヤシムル）と呼ぶ。殊に夏時は然りであつて遠く數十里の道を遠しとせずして、潺々として湧出する水邊に蜩集し終日之を飲用するのである。藥水の名高きものは炭酸泉であつて多くは鐵分に富み、辛味に加ふるに一種の甘味がある。忠清北道清州郡椒井里の椒水の如きは甚しく良好なる炭酸泉であつて多くの溫泉の如くに世宗や世祖の王達は臨幸したり又は蹕を此に駐めた。

朝鮮には曩に富平の溫泉に就いて引いた古い記事の様に役人が遊浴に來ることを厭つて溫泉を閉塞したこともあるし復た左の記述の様に日本人の來浴を惡んで溫泉を潰した例もある。慶尙道靈

山溫泉、比他稍冷、浴者或煖石投泉而助熱、且倭人求浴者絡繹不絕、縣惡之、啓聞塞其源とある。而して此の溫泉は今も廢滅してゐる。猶釜山に近い朝鮮第一の溫泉場たる東萊溫泉に就いては、東萊溫泉最好、泉如匹練、從地湧出、其煖如湯、亦可煖酒、倭人來朝者、必求浴、斑衣往來充斥、州縣不勝其苦矣、とあつて日本人の溫泉好きなのを明にして居ると同時に前の記事に照せば朝鮮人が溫泉をそれ程好きではないのと一面には惡政の爲め天賦の靈泉の恵みを一般の者が享受することの出来なかつたのを表はして居る。數多くの朝鮮の溫泉地は日本人の朝鮮を開明國たらしめんとする偉圖に依つて、朝鮮人の爲めに開發せられなくてはならぬものゝ一端に屬すると信ずる。

私の知つて居る限りに於て朝鮮の舊來の溫泉の中で浴室も立派であつて設備の整つて居つたと觀たのは江原道の南部蔚珍郡平海に近い白巖山下の白巖溫泉であつた。舊記によるとかうある。平海西白巖山下、泉湧山背之高丘、溫煖適宜、泉甚澄潔、僧信眉大構室宇、糴糶米穀、施與往來沐浴人とある。民衆をして怡樂せしめんには信眉なる僧と同じ慈愛心を必要とする。私は此の地を過ぎて溫泉は三箇所に湧出し溫度は最高のものが攝氏四十六度であり、一日約千石の湧出量があつて地質は角閃黑雲母花崗岩なことを觀察した許りで、私の調査を急いだが爲めに、一浴して私には何等の交綏もない様に見える鮮僧の慈悲心によつて二箇月半に亙つた南部江原道の急いだ旅の疲勞を癒さなかつたことを大に遺憾とする。

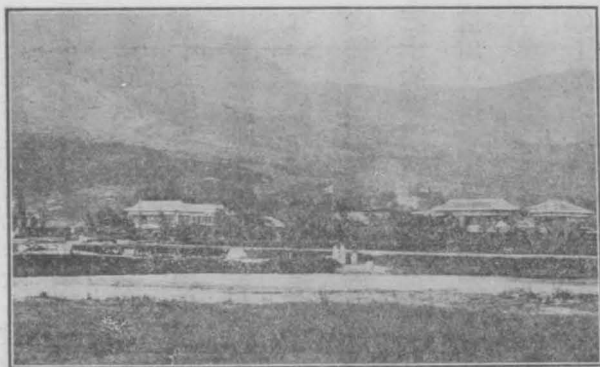
溫泉の多いのは咸鏡北道と黃海道である。前者には玄武岩質や粗面岩類の新火山岩がかなり賦存されてゐるところであるが溫泉の多くは正片麻岩地にある、鏡城郡から明川、吉州を経て城津郡に亙る地域には南北に走る數多くの斷層線があるので溫泉も斷層に沿うて湧出するのは明かなことである。鏡城郡に於ける溫泉の分布を圖上で見ると其の或るものは南北に排列されてゐる。之は一つの斷層線に沿うて湧出するものと思へる。咸北の溫泉の尤なるものは鏡城郡の朱乙溫泉である溫度五十五度半で一日の湧出量一萬石以上に及び朝鮮の溫泉中湧出量の最も多いものである。

黃海道の溫泉は主として花崗岩の裂罅より湧出するもので溫度が八十度以上に達するものが少ない。甕津郡馬山溫泉は海に近き平地で約四町平方の地は何處にも湧出すると云ふことである。次の様な記事がある。馬山溫泉最奇、或有微溫者、或有大熱者、泉傍海、故其臭惡而出味鹹、野中有三十餘處、或貯爲池、或小爲泓、或於川底水熱難離、或有溫泉噴出、熱泡湯沸、此の他安岳、達泉、信川、松禾、平山等の溫泉は皆多少の設備があつて遊浴に適して居る。

朝鮮の溫泉場で最も設備の整つて居るのは東萊溫泉で之に次ぐのは溫陽である。前者は釜山に近く電鐵の便があり、朝鮮半島の極南に近くある故に風は劇しいが避寒に適して居る。廣き谷野の中にあつて朝鮮唯一の溫泉聚落を作つて居る。溫泉は數箇所に湧き溫度五十一度六分あつて冬季の入浴にも差支へない。弱アルカリ性の鹽類泉である。近時滿鐵は總督府の駒田地質技師監督の下に

試掘を以て温泉を調査　たこのことで其の結果によると温泉は花崗岩と玢岩との境界から湧出する  
このことで其の温泉脈の走向を明にしたと聞いた。これは後來新しき源泉を求める時に役立つのは

無論である。東萊郡の日本海に瀕した海雲台は風光のよい處で  
此處にも温泉があつて之れも調査されて居るといふことである。



東　萊　温　泉

温陽温泉は京釜線の天安から輕鐵もあつて交通の便利なところ  
で古くから知られて居る温泉であるが、温度が僅に低い恨みがある。  
大田に近い處に新しい温泉場なる儒城温泉がある。之も四十五度の温度で少し温い。  
朝鮮の名山金剛山の北東麓に温井里の温泉場がある。こゝは海路よりする金剛山探勝の關門  
たり最初の足溜りであつて、四周の風物は金剛山塊の崔嵬を目睫の間に仰望するが故に豪壯なるものがある。温度は少しく低くして四十三度しかないがこれは谷地の砂礫層から湧出する爲めに砂礫層中の冷水が混するからであつて若し其の下位の花崗岩から直に導管を以て湧出させるときは温度を昇すことが出来ると信ずる。

とある。冷熱泉の近距離内に共存することは温泉研究者に取つて面白い事實である。

上述の如き交通の稍便なる地にあつて新しい設備の多少加へられたものゝ外多くの温泉は山間の僻地にあつて静かな仙境を作して居る。私の嘗て入湯した二三のかゝる温泉地を次に舉げて見たい。平安北道には四箇所に温泉がある。就中熙川郡新豊面の温泉は清川江の上流、平安南道との境界に近い山奥にあつて温泉は二箇所に出る、主なる温泉は剝狀花崗岩より成る山側か



平安北道熙川郡新豊面南里温泉

平安南道龍岡温泉は鎮南浦の北方にあつて新しい設備のある温泉場である。輿地勝覽によると周二十餘歩、水極溫鹹、其西十餘歩又有泉周四尺、微溫且鹹、又其西有冷泉周三尺至鹹而深  
咫尺之間  
溫冷迥殊



熙川郡長洞面元興里温泉

ら瀧を成して流出してゐる（寫眞を見よ）、其の溫度は五十度に達して浴槽に導いても熱くて直には這入れぬ。私はこんな出方をして居る溫泉を見たのは初めてであつた。矢張り熙川郡長洞面の溫泉



平南寧遠郡溫泉の泉場

は少しく溫るいが新豐面の溫泉よりもつと淋しい小溪の間にあつた。（寫眞を見よ）朔州郡溫井洞の溫泉は觀音閣の下の岩隙より五十九度二分に達する溫湯が小流をして流出してゐる。平安南道寧遠の溫泉や陽徳の幾つかの溫泉や咸鏡南道德源郡豐下面及び江原道伊川郡方面の南北に位置する溫泉の如きは何れも平安北道のものゝ如くに幽邃な山間に位してゐる。

朝鮮に於ける溫泉の化學性分は未だよく調べられてゐないが其の多くのものは中性であつて鹽類泉に屬する。而して固形分が何れも少ない様である。恐く黃海道馬山溫泉の如きは最も固形分に富んだものであらう。朝鮮には正片麻岩及花崗岩地には何處でも石英脈に富んでゐて、其の或るものは金を含むのである。溫泉はかうした石英脈を古き地質時代に作つた熱水泉の殘溜物であるのである。

舊記を見ると今知られて居ない溫泉の幾つかは記載されて居る、之等は天然にか又は人爲でか一



時中絶したものであるから探究の結果恢復され得ることゝ思ふ。猶朝鮮では東萊や海雲台を除いて試錐で鑿泉するに至らないが、適當な考慮の下に深掘を溫度の低い溫泉地で行つたなら相當量の熱い湯を出すことが出来る處が多いと思はれる。各地に散在する溫泉地を發達さして一般の療養、慰安の地としたものである。

# 朝鮮溫泉地表

咸鏡北道富寧郡富居面溫水洞

同  
同  
郗下茂山面磨里洞——玉瀑溫泉

同  
茂山郡漁下面溫泉洞

同  
鏡城郡龍城面龍川洞

同 同 郡朱乙溫面溫川洞朱乙溫堡—朱乙溫泉

同  
同  
郡同  
面龍郊洞—中村溫泉

同  
同  
郡同  
面甫岩洞湯池水

同  
同  
郡朱南面八鄉洞湯水坪

同  
同  
邪同  
面雲浦洞

同  
明川郡上古面黃津洞溫水坪

同  
吉州郡英北面橋洞溫水坪

朝鮮の温泉

同 城津郡鶴西面細川里

同 郡鶴上面松興里—湯子坪溫泉

咸鏡南道甲山郡普惠面內曲里明花洞

同 長津郡北面長洞里鹿角德

同 德源郡豐下面清溪里湯池

平安北道灤川郡新豐面南里溫下站

同 郡長洞面元興里溫水站

同 雲山郡委延面香下里溫井站

同 朔州郡郡內面溫井洞

平安南道寧遠郡溫面和倉里溫泉洞—寧遠溫倉溫泉

同 孟山郡謁田面溫井里咸溫洞

同 陽德郡溫泉面溫井里石湯池及水院湯池

同 郡同 面平岩里坪湯池

同 郡九龍面龍溪里

同 咸川郡靈泉面龍興里—龍澤溫泉

同 龍岡郡海雲面溫井里青井洞龍岡溫泉

黃海道安岳郡銀紅面溫井里—安岳溫泉(洞陰溫泉)

同	信川郡草里面達泉里
同	同 郡弓興面轆弓里捺石洞
同	同 郡同 面三泉里
同	同 郡溫泉面溫泉里―信川溫泉
同	同 松禾郡蓮井面板橋里―松禾溫泉
同	同 平山郡新岩面白川里湯太村
同	同 郡積岩面溫井里―溫井院溫泉
同	同 延白郡溫井面錦城里寺洞
同	同 靈津郡馬山面溫泉里―馬山溫泉
同	同 江原道杆城郡新北面溫井里―金剛山溫泉
同	同 伊川郡方丈面龜桐里葛山洞―葛山溫泉
同	同 蔚珍郡北面德邱里上德邱洞
同	同 郡溫井面溫井里―白巖溫泉
同	同 忠清南道牙山郡溫陽面溫泉里―溫陽溫泉
同	同 禮山郡德山面新坪里―德山溫泉
同	同 大田郡儒城面鳳鳴里―儒城溫泉
同	同 忠清北道稷山郡上堇面溫泉里―水安堡溫泉
同	同 慶尙南道東萊郡東萊面溫泉里金山洞東萊溫泉
同	同 同郡南面佐里―海雲砦溫泉